

山口のりひさの
県会議員



活動便り

台風19号災害から1年。この間、被災された皆さんの声を議会に届け、避難所の環境改善、ドロの撤去など地元自治体の支援、被災者生活再建支援法見直しなどを求めてきました。

7月28日に国土交通省千曲川河川事務所と懇談し、地元の要望の強い千曲川の堤防の強化や、かさ上げを要望しました。また、「千曲川緊急治水対策プロジェクト」について、住民への丁寧な説明や住民参加を求めました。

浅川の内水対策

浅川に流れ込む雨水を貯留する調整地の設置を求めました。公的施設や民間の土地を活用し設置すると、答弁がありました。

河川の堆積土や樹木の除去作業の情報を、地元自治会や住民に提供するように求めました。



浅川（長野市檀田）

災害の危険防止



排出土処理予定地を視察（下條村）

沢すじに盛土するリニア中央新幹線の排出土処理計画に、地元住民の不安が広がっています。過去に大きな災害があった場所が多く、盛土の安全基準などをたどりました。



佐久市の遊水地候補地＝千曲川の水を川の外にいったん取り込み、下流の洪水を防ぎます。

避難所の運営

7月の台風10号では、全国の400箇所近い避難所で収容人数を超過しました。混雑状況や、道路の浸水や通行止めの情報を自治体ホームページや防災メールなどで提供するように求めました。自治体が避難所の運営ルールを住民自治会などと共有し、協力する体制を求めました。



令和2年長野県総合防災訓練（東御市）

環境配慮型住宅

断熱性能に優れ、県産木材の活用で森林整備をすすめる環境配慮型住宅の建築費を助成する制度が好評です。予算の増額、二酸化炭素排出量削減の効果などさらに県民にアピールするように求めました。



建設委員会

地域公共交通

電話予約でバスが自宅にお迎えに来て、通院や買い物など目的地に送る飯綱町の『アイバス』を視察しました。運賃は一律200円。ヘルパーさんが同乗し、乗降をサポートしてくれます。



飯綱町の『アイバス』

高校再編

全県的に高校再編が進められていますが、下高井農林高校は地元の世論もあり当面存続が決まりました。野菜の栽培、ブタや肉牛の飼育、食品科学、自然環境など、地域に根付いた特色のある教育が行われています。



下高井農林高校（木島平村）を視察

外国人留学生に手厚い支援を

外国人留学生のアルバイト時間の規制を緩和するよう、政府に求める意見書が提案され、私は反対討論を行いました。

外国人労働者は、使い勝手の良い、安い労働力として受け入れが拡大され、特に留学生は、学費や留学あっせん業者への支払いで多額の借金を抱え、人権を踏みにじるような劣悪な条件で働かされています。

こうした問題にメスを入れぬまま、規制を緩和することは、留学生をいっそう苦しめかねません。今求められているのは、留学生の生活と学びを支える手厚い支援です。



本会議

ご意見・ご要望をお寄せください。

